

平成30年9月21日

報道機関各位

いわぎん事業創造キャピタル株式会社

「いわぎん農業法人ファンド」による投資について

いわぎん事業創造キャピタル株式会社（代表取締役社長 稲垣秀悦）は、株式会社岩手銀行と株式会社日本政策金融公庫の共同で組成した「いわぎん農業法人ファンド」の投資先として、養豚業を営む有限会社ありす畜産（本社：岩手県気仙郡住田町、代表取締役：水野 雄幸）に出資を行うことを決定しましたので、下記の通りお知らせします。

有限会社ありす畜産は岩手県気仙郡住田町で養豚業を営んでおり、「四原種配合豚」の肥育及び精肉販売等を行っています。肥育環境の改善及び増頭による生産能力の向上に取り組んでおり、今後の事業の成長が期待できることから、今回出資を決定しました。

記

1. 投資決定先の概要

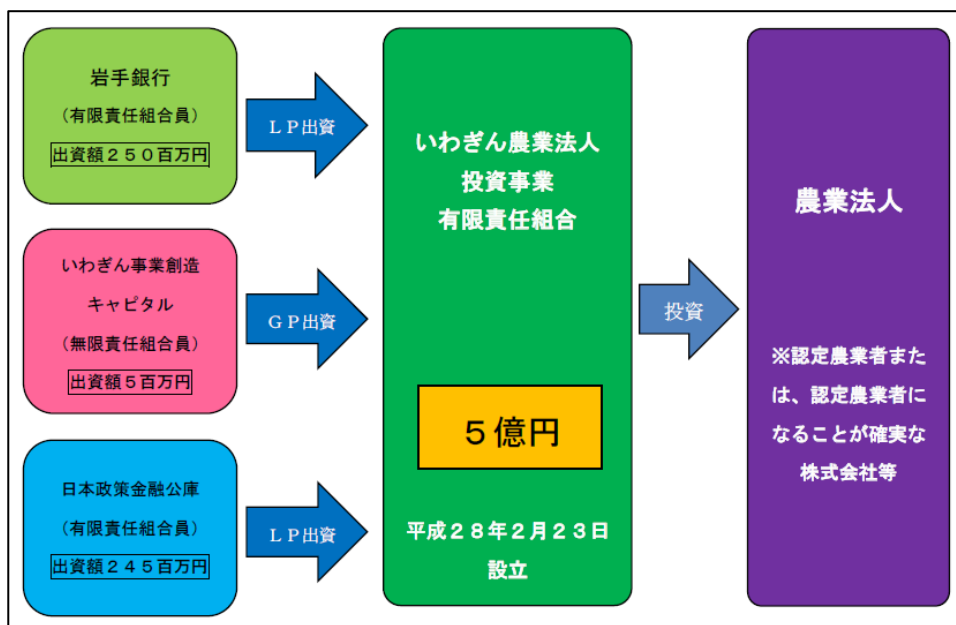
企 業 名	有限会社ありす畜産
代 表 者	代表取締役 水野 雄幸
本 社 所 在 地	岩手県気仙郡住田町上有住字新田356番地
設 立	平成17年2月
事 業 内 容	養豚業（養豚及び精肉販売）
出 資 額	5,000万円
出資金の用途	運転資金及び設備資金
出 資 形 態	無議決権株式引受
企 業 の 特 徴	<p> ありす畜産は、良質な肉質を持ち病気に強い「バークシャー種」を三元豚に掛け合わせた国内では珍しい「四原種配合豚」の肥育・販売を行っている。</p> <p> 豚に与えている飼料は自社の飼料製造プラントで栄養成分を考慮し作られた独自飼料である他、薬に頼らない減投薬飼育を実践しており、平成19年からはコープデリ連合会による『お米育ち豚プロジェクト（※）』に参加。飼料に岩手県産の飼料用米を加えることで脂肪・肉質に高い評価を得ている。</p> <p> また、当社は生協版畜産GAPの導入に積極的に取り組んでおり、生産工程管理を厳格に行うことで、より安心・安全な豚肉の生産を目指している。 </p>

※お米育ち豚プロジェクト：輸入に頼っていた飼料を国産のお米に替えることで、田んぼを守るとともに、日本の食料自給率を向上させることを目指す取り組み。

2. ファンドの概要

名 称	いわぎん農業法人投資事業有限責任組合	
ファンド総額	5 億円	
設立日	平成 28 年 2 月 23 日	
出資者	株式会社 岩手銀行	250 百万円
	株式会社 日本政策金融公庫	245 百万円
	いわぎん事業創造キャピタル株式会社	5 百万円
運営期間	約 15 年	
投資対象	岩手銀行営業エリア内の認定農業者または認定農業者として認定を受けることが確実な農業法人で、株式会社（特例有限会社を含む）形態の組織	

3. ファンドのスキーム図



「農業法人投資育成事業」について

「農業法人に対する投資の円滑化に関する特別措置法」に基づき、規模拡大等に意欲的に取組む農業法人の株式等を取得・保有し、経営または技術の指導を行う事業です。従来、同法に基づき農業法人に出資を行うことができる投資主体は株式会社のみでしたが、平成 25 年 12 月の法改正により、投資主体に投資事業有限責任組合（LPS）が追加されました。

以 上

＜本件に関するお問合せ先＞
 経営戦略室 千葉 TEL：019-621-1470